

「原子・分子の自在配列と 特性・機能」領域 1期生 成果報告会

参加費無料

日時

2024年 3月7日 (木)
9:35~16:15 (受付開始: 9:15)

会場

東京大学 山上会館
東京都文京区本郷7丁目3-1

概要

さきがけ「自在配列」領域の成果報告会を開催いたします。本さきがけ研究領域は、2020年10月に立ち上がり、原子や分子を自在に結合、配列、集合する手法を駆使して、新しい物質や構造体を生み出し、その構造がもたらす新しい特性や機能を引き出すことにより、革新的な物質科学のパラダイムを構築することを目指しています。今回のシンポジウムでは、1期生として2020年度に採択された課題の研究成果を紹介いたします。いずれの課題も挑戦的で独創的であり、多くの革新的な成果が生まれました。皆様のご参加をお待ちしております。

定員 400名 (会場100名・オンライン300名)

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部 さきがけ「自在配列」領域担当
E-mail: presto_pma@jst.go.jp

お申し込みはこちらから

※事前登録制

【会場参加申込み】 (定員: 100名)
https://form.jst.go.jp/s/pma-sympo20240307_1

【オンライン参加申込み】 (定員: 300名)
https://form.jst.go.jp/s/pma-sympo20240307_2

プログラム

9:15- 9:35

受付、Zoom入室

9:35- 9:45

開会挨拶

西原 寛 研究総括（東京理科大学 総合研究院長）

9:45-10:00

金属ナノ粒子における原子の三次元自在配列技術の構築

草田 康平（京都大学 特定准教授）

10:00-10:15

MBE・原子置換・パターンニングを融合した新原子層材料の創製

菅原 克明（東北大学 准教授）

10:15-10:30

強相関ファンデルワールス超構造の創成

中野 匡規（東京大学 特任准教授）

10:30-10:45

準2次元金属の層配列制御による界面機能の創出

原田 尚之（物質・材料研究機構 独立研究者）

10:45-11:00

ナノシートの配列制御に基づく材料設計と機能実現

佐野 航季（信州大学 助教）

11:00-11:10

休憩

11:10-11:25

二次元系の自在超構造化と機能創出

北浦 良（物質・材料研究機構 主席研究員・グループリーダー）

11:25-11:40

塩基配列からナノ粒子配列への自在変換が拓く生命情報検出

太田 誠一（東京大学 准教授）

11:40-11:55

トポロジカル結合の自在配列による革新的機械特性発現

佐藤 弘志（理化学研究所 ユニットリーダー）

11:55-12:10

可逆的ペプチド鎖による高次ナノ構造構築法の開発

澤田 知久（東京工業大学 准教授）

12:10-12:25

分子進化から学ぶ新規なタンパク質再設計法の開発と応用

中野 祥吾（静岡県立大学 准教授）

12:25-13:35

昼食休憩

13:35-13:50

らせん状 π 共役分子の自在配列によるキラル分子機能の創出

廣瀬 崇至（京都大学 准教授）

13:50-14:05

ケイ素鑄型分子を活用した金属自在集積

砂田 祐輔（東京大学 教授）

14:05-14:20

金属錯体触媒の精密配列に基づく反応場の自在構築と正と負の触媒効果

近藤 美欧（東京工業大学 教授）

14:20-14:35

特異的原子配列が創るエキゾチッククラスターの開拓

塚本 孝政（東京大学 講師）

14:35-14:50

液体中のイオン・分子配列制御と電気化学新機能の開拓

山田 裕貴（大阪大学 教授）

14:50-15:05

休憩

15:05-16:05

ポスターセッション（現地のみ）

16:05-16:15

閉会挨拶

西原 寛 研究総括（東京理科大学 総合研究院長）